

「界」

作者の中で陶器と染織の境界がなくなり始めた頃の作品

高取七絵

Nanae Takatori

- 1982 修猷館高等学校卒業
- 1986 京都市立芸術大学 染織科卒業
- 1987 堺町画廊（京都）にて個展
- 1988 京都市立芸術大学 染織大学院修了
ギャラリーおいし（福岡）にて個展
高取焼宗家に嫁ぐ
- 2002 親子4人展（ギャラリーおいし）
- 2006 親子4人展（ギャラリーおいし）
- 2007 九州造形短期大学 非常勤講師

賞歴

- 1987 第12回新人染織展覧会 意匠賞
- 1988 第13回新人染織展覧会 通商産業大臣賞
新鮮賞
- 第44回福岡県美術展 県美術協会賞



題字・箱島信一書
発行 修猷館同窓会
東京支部事務局
〒185-0034
東京都国分寺市光町2-14-85
(有)パルティール内
FAX 042-573-5060
東京修猷会ホームページアドレス
<http://www.shuyu.gr.jp>

楽天思考で...



東京修猷会副会長
中川勝弘（昭和35年卒）

あけましておめでとうございます。修猷館の同窓の皆様も、新しい年を新たな決意や感慨をもって迎えに
なれたことと存じます。

私は、東京修猷会の副会長として、大須賀副会長とともに、箱島会長をお支えする立場で、同窓会活動に携わってまいりました。忙しさにまぎれて、充分な活動をする
ことができず不本意なところもありますが、老若男女さまざまな
館友の方々とお会いすることができ、若かりし頃の修猷館生活を
思い出し、懐かしい昔がよみがえる思いがしています。

さて新しい年は、昨年アメリカに端を発した金融危機、景気後退の動きが世界に拡がり、ますます厳しい状況
を強め、大変つらい年になりそう予感がします。しかし、こ
ういう時こそ、厳しい困難に前向きな気持ちをもって立ち向かい、
新たな成長と発展を呼び込む「チャンス」ととらえることが大事
であります。

悲観的に物事をとらえずによく「前向きに」とか「ポジティブ思考」で、
対処していくことが大事だといわれます。たしかに、実生活の中
でもクヨクヨ悩んで、「ああマズイことになるのでは」とか「こ
うなったら困るな」などと考えるばかりいると、現実にはそう
なってしまうということが多々あります。例えばゴルフなどで、
「池にボールを落とすとマズイな」と思うとその通りになる
という身近な例を挙げるまでもないでしょう。…閑話休題。

私は日頃のモットーとして、「前向き思考」よりも一層前向きの
「楽天思考」をすることにしていきます。「自分のまわりに起
こることは、全て自分にプラスに

なる。自分に解決できないことは自分には決して起こらない。今
すぐに解決できないと思っても、思いがけない方向から解決の
糸口がみつかり、自分で解決できる。」という思考原則です。
人間の遺伝子には楽天的に生きた方が成功するという情報
が組み込まれているので、科学的にも根拠がある様です。

気持ちの持ち方一つで、病氣も治るといいます。心地よい音楽を流
して患者の病氣を治す病院や「笑い」で患者を治療する病院も
ある様です。病氣の「氣」も、元氣の「氣」も同じ「氣」とい
う字が使われています。この「氣」は、目には見えないが人間の
命や健康に大きな影響を与えるいわば自然のエネルギーともい
えます。中国に生まれた氣功法は、この「氣」を鍛錬により、体
に取り入れて、健康を保ち精神を平らかにすることができるとい
います。私は、この氣功体操を始め、現代西洋医学ではよくわ
からない何かがある様な気がしています。西洋医学は、人間の体
を細分化して、内科、循環器科、眼科、外科等々に分けて診断
をします。東洋医学は、人間の体をトータルにとらえて体とその
精神（氣）を含めて診断をするので、西洋医学にはない素
晴らしさをもっていると思います。まだまだこの世には現代科
学で解明されない現象も数多くある様なので、眉唾もの
だとか、信じられないと拒否をせずに、そういうこともあるの
かと楽天的に考えてみるのも良いのではないかと思います。

お正月のほろ酔い加減のご挨拶になりましたが、今年も皆様に
とって元氣に明るい年となりますようお祈りします。



東京修猷会二〇〇九年活動スケジュール

二木会は、8月を除く毎月第二木曜日
6時から食事、7時から講演

1月 会報発行 正月に全会員に送付

8日 二木会 於・学士会館
中澤 宣也（昭和38年卒）
工学院大学教授・理学博士

2月 二木会 於・学士会館

3月 二木会 於・学士会館
春季常任幹事会

4月 二木会（新人歓迎会）
於・学士会館

5月 二木会（ゴルフコンペ）
於・学士会館

6月 二木会 於・学士会館
5日（金）総会
「修猷魂を次代に
そして世界に繋ぐ」
於・グランドプリンスホテル赤坂
午後6時より
（幹事学年は昭和58年卒）

7月 二木会 於・学士会館

9月 二木会 於・学士会館

10月 二木会 於・学士会館

4日 二木会ゴルフコンペ
8日 二木会 於・学士会館
秋季常任幹事会

11月 二木会 於・学士会館

12月 二木会 於・学士会館
10日 忘年会

今年の二木会は「時空を超えて修猷の絆を強める」を年間テーマに、各界で活躍の修猷卒業生から、その分野の最新状況をお聞きします。奮ってご参加下さい。

2008年度東京修猷会総会

「時空を超えて修猷の絆を強める」

2008年6月13日（金）、恒例の東京修猷会総会及び懇親会が千代田区平河町の都市センターホテルで開催された。当日は好天に恵まれ591名が出席。例年に比べ、ご高齢の大先輩と現役の大学生の参加が多かった。

第1部総会
第2部懇親会

第1部は物故者への黙祷、東京修猷会会長挨拶、修猷館同窓会会長挨拶、館長挨拶、そして報告事項、とつづがなく進んだ。第2部は、招待恩師の紹介。今回は、幹事学年が在学中お世話になった田中康司先生（昭和49年・昭和63年在職）、田浦賢治先生（昭和50年・昭和60年在職）だけでなく、若い世代のリクエストに応え榎園敏行先生（平成3年・現在々職）にもおいでいただいた。

田中先生は、司馬遼太郎氏の「修猷生は天下をとってやろう」という壮大な意識が非常に強く大変すばらしい」との言葉を引き合いに出され、日本を背負って立つという心意気で頑張っているという激励された。田浦先生は、可能性豊かな修猷生と過ごすことができたのは教員生活において大変貴重な財産であると話された。またジョギングが趣味の先生は3年前の正月、私共幹事学年と「走り初め」をされた。

第3部懇親会
会場一体となった美演ステージ

懇親会は、例年どおり館歌斉唱でスタートし、ますますお元気の宮川一二先輩（昭和12年卒）のご発声で乾杯した。

今回の学年企画は、美演ステージ「修猷スイッチ」を懐かしい「応援練習」や「運動会」を幹事学年が若い後輩たちとともに演じた。

応援団長柿本英樹君による太鼓の連打、そして加茂川丈巳君による「用意はいいかあー」の掛け声でスタートし、一気にボルテージは上がった。

まずは「応援練習」。ステージ上で先輩の「しごき」を再現し、その後会場全員で、前方スクリーンに映し出された歌詞を見ながら「玄南の海」を大合唱。腕を振りながら熱唱される先輩も



“修猷スイッチ”誕生秘話

加茂川 丈巳（昭和57年卒）

昨年の東京修猷会総会の美演企画「修猷スイッチ」。この企画を立案する際、我々剛質会が軸としたことは①過去を懐かしむ同窓会に止まらず元気を与え合い将来の希望を分かち合う総会にする②総会コンセプト「時空を超えて修猷の絆を強める」を実践する③総会当日に至るまでの過程を参加者で楽しむ、



真剣に指示する筆者（一番左）

各自振り付けビデオで自主トレし、こちらも全員集合は当日が初めて。本番では見事な演技で盛り上がりました。最初は笑ネタとして書いた企画シナリオでしたが、それをここまで実現させる、世代を超えたエネルギー。脈々と受け継がれている修猷魂に改めて驚きを感じた次第です。



榎田 拓志（平成16年卒）

より、社会の第一線で活躍されている先輩方が、仕事のノウハウを存分に発揮し準備する姿は大変勉強になり、自分もいつか幹事学年を受け持つのだという思いを強くしました。同窓会とは各々の時間と労力を少しずつ捧げることになり立つのだと感じます。貴重な経験をさせていただいた57年卒の諸先輩方、東京修猷会の皆様、ありがとうございました。ピラミッドに入っ

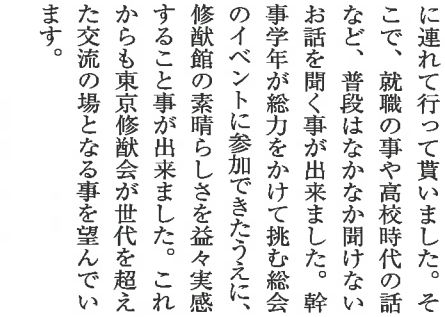
たのもよい思い出です。今回ご縁あって、同窓会企画に参加させていただき、多くの得難い経験をすることができました。約半年にわたって57年卒の先輩方をお手伝いするなかで、同窓会のネットワークの大切さを改めて実感した次第です。何

“修猷スイッチ”に参加して



中洲 慶子（平成17年卒）

あとは、終電間近まで必ず飲み込んで行つて貰いました。そこで、就職の事や高校時代の話など、普段はなかなか聞けないお話を聞く事が出来ました。幹事学年が総力をかけて挑む総会のイベントに参加できたうえに、修猷館の素晴らしい益々実感すること事が出来ました。これからも東京修猷会が世代を超えた交流の場となる事を望んでいます。



東京修猷会2009年度総会のご案内

テーマ：「修猷魂を次代にそして世界に繋ぐ」

2009年6月5日（金）18:00よりグランドプリンスホテル赤坂（旧赤坂プリンスホテル）（今年は会場が変更となります）

幹事学年：五八会（いっちょやる会：昭和58年卒）

6.5

今年は第1金曜日

09



口の中から世界を見てみたい。そんな思いから、2007年3月下旬、日本から約8000km離れた南太平洋に浮かぶトンガ王国ババウ島に、JICAボランティアとしてやってきました。

携えてきたのは、古今東西、全人類に共通する健康観。

トンガの歯科医師は、全人口11万人に対し8名。ババウ諸島（人口1万6000人）には、私を含め2名が常勤。WHOとの協同調査の結果、ババウ諸島の全小学校32校の1年生約400人の虫歯罹患率は95%。一人平均虫歯数は、乳歯8本、永久歯

トンガで歯科ボランティア

藤瀬 多佳子

方法は？

考案実行したのが、小学校巡回指導プログラム、健康の芽を生活習慣に埋め込む作戦です。

これがボランティアの鉄則です。未来あるトンガの子供たちを救う

午前8時、病院で診療。午後は、ババウ島の21校を毎週巡って、歯磨きとフッ素塗布の指導。診療室にいては1日に20人、30人が限度ですが、学校巡回すると1日平均700人の子供たちと会えるのです。最近、上級大海を体験中です。



小学校巡回指導プログラムで歯磨き指導をする筆者（中央）

生が隣の下級生を歯磨き指導したりするのを見る機会も増え、思わずにっこりしています。ババウ島は、世界中のヨットマンにとっては太平洋横断の要所でもあります。長期航海中に歯のトラブルが起ったマルチナ・シヨナルな人々の治療にあたる

アニメの音楽といってもいろいろあるが、現在、仕事のメインは劇中のバックで流れるBGM、すなわちバックグラウンド・ミュージック＝劇伴の作曲である。

時代は移りかわるもので、私が幼い頃には単に子供の娯楽としての性格が強かったアニメも、今では日本が世界に誇る輸出できる文化、エンターテインメントの先鋒とされている。実際、受ける仕事もいわゆる秋葉原のオタク文化を熟知していないと、理解しがたいものが多い。だが、そこで難しく考えて妙に迎合してしまふと優れた作品にはならないのではないのか、との思いで、意識的にある一定の距離を取るようにしている。

実は大事にしているのは福岡で過ごした幼少期から青年期の想い出である。同じ劇伴の仕事

東京にてアニメ音楽を創る

光宗（池本）信吉

私には4歳からヤマハ音楽教室で音楽の教育を受けていたといえ、音大は出ていない。つまりクラシックのアカデミックな教育は殆ど受けていないのである。

だが私には福岡の豊かな土地で過ごし、当時ブームだったフュージョン・バンドのコピー・バンドに明け暮れた修猷館時代の楽しい思い出がある。作曲とは、



【音楽を担当した主なテレビアニメ】
「少女革命ウテナ」「遊戯王デュエルモンスターズ」「魔法先生ネギま！」「ローゼンメイデン」「ゼロの使い魔」など

光宗さんの詳しいプロフィールが、以下のURLに掲載されています。
<http://ja.wikipedia.org/wiki/光宗信吉>

仕事いろいろ 昭和57年卒

私は2006年3月から2年半、アラブの大金持ちと世界中のセレブが集う都市、ドバイで勤務し、それまでの海外勤務では経験したことのない貴重な時間を過ごすことが出来ました。

最近、日本のメディアでも盛んに取り上げられているのでご存知と思いますが、ドバイでは世界一スピードの速い経済発展・都市開発が進んでおり、街中が建設ラッシュ。とにかく街そのものが大きな建設現場のようです。

そんな現場を支えているのは、インド・パキスタン・バングラデッシュ・ネパール・フィリピン・エジプトなどからの出稼ぎ労働者。私は建設会社勤務、複数の現場の事務統括責任者でしたが、事務所のスタッフは地

『ここに来て、貴女は自分の染織の仕事の続けなさいよ。』20年前、義父は私にそう言うてくれました。

私は芸術大学で染織を学び、卒業後は大学院に進み、着物を織り続けました。染織の仕事は天職とまで感じるようになっていたの



何足ものわらじ

高取（木戸）七絵

『自分の知り得ているもの以上のことを、人に教えることはできない。』私の教育の永遠のテーマです。

加えて、昨年の夏より、村の教育委員に任命されて、寮元の仕事・主婦・PTAの役員・短大の非常勤講師・染織作家・教育委員と何足ものわらじを履くこととなったのです。

四季折々の自然の美しさと共存しつつ、焼物を造り、草木染に親しむ。火・土・水・草木との融合の中に、私はおのずと引き込まれていき、技法は変わっても表現したいテーマは



ドバイを支える多国籍社会

上田 健二

元ドバイの他、レバノン、エジプト、イギリス、インド、パキスタン、シンガポール、マレーシア、フィリピン、ネパール、スリランカ、日本人から成る、他国ではあり得ない多国籍混成チームでした。

コミュニケーションはもちろん英語。ただし各国の考え方や仕事の進め方、文化的背景には大きな違いがあり、物事が思ったように一つの方



多国籍混成チームの現地会社スタッフと筆者は前列右側

修猷のいま

「えっ？ホントに彼らも修猷の卒業生？」6月の東京修猷会総会で、幹事学年（昭和57年卒）として若い卒業生達に出会った時の率直な印象だ。外見はスマートフォンでどこから見ても今どきの若者。平成生まれの卒業生たちが社会に飛び立とうとする今、私達の思い出の中の修猷と現在の姿のギャップを埋めるべく、「修猷のいま」を知ろう。

全校生徒の半数近くが女子

現在、修猷館の全生徒数は192名で全学年10クラス編成。そのうち557名を女子が占めるまでになった。昭和24年に初めて女子が入学して以来、昭和50年代半ばまでは、共学と言えど女子の数がとても少なく、食堂では女子は寄り集まって座っていたものである。現在は、運動会の競技に女子の綱引きもあり、また今年度前半の生徒会の三役は、たまたま全員女子だったそうである。あの、男クラと呼ばれた、男子だけの少々むさ苦しい（？）教室がいくつも存在した時代からすると、隔世の感がある。

時代に即した人材教育カリキュラム

修猷館は、伝統校として長い間培われてきた人材育成の一方で、時代の要請に適った教育カリキュラムや進路指導について、意欲的な改革を行ってきている。ここ数年実施されている人材教育カリキュラムの一部を紹介する。

*クラス編成

理系文系のクラス分けは2年生から。各々、最難関国立大を目指す英数クラスが1クラスずつある（原則希望者）。医学部志



中庭の芝生広場で生徒会選挙の立会演説会

望者向け医進クラスもあり。尚、今年度から2期制を採用。

*出前授業

大学・医療・マスコミ・民間企業など、様々な分野で活躍する方を講師に招き、授業では学べない内容の講義を受ける。平成14年度以来、参加講師は140名以上に上る。毎年講義を担当された講師の方達からは「最近の修猷生は大人しい」との声も。今年は34講座から選択。

*「課題研究」

例えば「タンパク質の分離と分子量精密測定」「裁判員制度について」「壊れ方から学ぶ建物―風圧力を測る―等、数十種類のテーマから生徒達が関心のあるものを選択し、研究発表する。

修猷館の先生その他、九州大学の教員、出前授業の講師等が顧問として指導する。意欲と思考力の両方を試されるハイレベルな

カリキュラムだ。
*進路別研究会
平成12年より実施。各界で活躍する卒業生が講義を行い、全校生徒が希望の講座を聴講。今年度は昭和54年卒39名が、各々の人生経験、キャリアについて熱く語った。講義を担当した先輩諸氏にとっても、現役生と触れ合うことは、とても新鮮で有意義な体験だったようである。

××××××

このように、現在の修猷生は、自分の進路を見極めるために、専門家や先輩社会人との交流の機会をより多く与えられている。将来の自己実現や社会的貢献に必要な能力を高めていけるように、修猷館の豊富な人的ネットワークをフルに活用したカリキュラムを享受していると言えるだろう。

真の修猷生は行事で養われる！

入学後間もなく行われる応援歌指導に始まり、3年間に行われる数々の行事や部活動に自ら本気で取り組む修猷生の姿は、今も昔も変わらない。現在行わ



生まれ変わった現在の修猷館の姿
旧東門の横に新しい正門が新設された（枠内）

れている行事の一部を紹介する。
*応援歌指導（4月）
応援団の指導のもと、新入生達が初めて自分の殻を脱ぎ捨て、応援歌に挑戦する。「個人史としての十五年が、世界史としての修猷二百二十五年とぶつかり、せめぎあうところ」（中嶋館長の言葉より）

*創立記念行事（5月）
創立225年目の今年は、講堂のこけら落としとして、地元「劇団ショーマンシップ」による時代考証を踏まえた創作劇『筑前藩校絵巻〜猷（みち）を修めるもの〜』が上演された。

*海外研修（7月）
平成7年より実施。面接と論文で選ばれた希望者（今年は12名）が、ニューヨーク・ワシントンD.C.を訪問した。国連やホワイトハウス等の名所見学、OBの企業訪問の他に、現地学生との交流も行われた。

*ハイレベル合宿（8月）

福岡県が推進する「21世紀人材育成推進事業」プログラムの一つ。福岡スーパースタイル（FISH）に指定された修猷



◆修猷生は今も「気合」好き？

ある女子生徒のことはより～『気合』という言葉を使う場面は、例えば、テスト前の体力的にきつい時。遅刻寸前の時とかも。修猷生は『気合』という言葉が確かに好き。それは気合を入れるような青春を恥ずかしがらずにできる環境があるから。応援歌指導で『気合入れろ！』と何度も言われるうちに馴染み深くなります！



昨年度1年生が文化祭で作った「We Show-a 昭和修猷」昭和の旧校舎を見事に復活

*十里路破遠足（12月）
1・2年生が参加。昨年度は九大伊都キャンパス・二見ヶ浦を通るコースを10時間で踏破。応援団は素足に下駄履きで団旗を掲げて先導、まさに修猷生としてのこだわりがにほかならない。
*大文化祭（3月）
昨年度から卒業式の後日に行われることとなった。クラス単位の発表の中から、来校者の投票により「六光賞」が選ばれる。昨年度館長賞の「We Show-a 昭和修猷」は、10年間にわたる校舎の全面改築以前の、昭和の修猷館を模型で表したのも、同窓会の協力により永久保存が決まったので、母校を訪れて新しい校舎とともに見学されてはいかがでしょうか。
*大運動会（9月）
昭和21年に始まり、今年は61回目を迎えた。男子生徒数が以前より減った現在でも、昭和42年以降の七ピラは健在。今年は「元寇」を歌いながらピラミッドを組んだり、ピラミッドが移動するなどのパフォーマンスも見られた。
現在修猷館で教鞭を取る渡邊康宏先生（昭和57年卒）によると、運動会の練習は、「自分達が現役だった時の、真剣さの中にほんの少し悲壮感（？）漂う雰囲気というよりは、明るく楽しみながやっている」そうである。女子エールは華やかなチアリーダーの舞となり、応コンは人も移動したり音楽器を取り入れた等、毎年、工夫が凝らされている。
ところで、鉄製のスタンドを建て4ブロックで対抗戦を行う形式は昭和35年以来変わらず。昔も今も、運動会なくして修猷は語れない。
*その他の主な行事
春のフェスト（文化発表会／5月）・文化講演会（5月・10月）・クラスマッチ（7月）・予餞会（1月）・応援歌伝承会（3月）など。

◆今も健在！

学校近くの懐かしい店
先日、修猷館の対面にある「珈琲伊藤」を卒業以来初めて訪れた同窓生E氏（昭和57年卒）の話。
E氏「学生時代頼めなかった、ブルーマウンテンNO.1、価格1000円くらい！」「ママ「うちはフレンドがうまいとよ、昔から。フレンドにしときー」
E氏「……」
（貧乏を見抜かれたか？）
ママ「しかしあんた変わらんねえ！」
××××××
今年開店31年目を迎える「珈琲伊藤」。ホットサンドは土曜の昼、お楽しみのひとつでした。伊藤フレンドとともに今も人気メニューです。締めには必ず昆布茶が登場。長居の高校生には「もうそろそろ帰らんね」の合図でした。マスターやママさんは今も変わらないそう。



「珈琲伊藤」のホットサンド（680円）

家族の分も買って行こう



その他、昭和40年開店の西新商店街にある「蜂蜜饅頭」。皮からはみ出しそうな白餡黒餡、今は1個90円です。部活帰りの空腹を満たしてくれた、お好み焼屋の「ひさこ」は、現在早良区野芥にあります。昭和28年創業のラーメン屋「つばき」は今も西新に健在です。

全国大会出場(2008)

ラグビー部 全国選抜大会出場
弓道部・陸上部・山岳部 インターハイ出場
コーラス部・新聞部・書道部・囲碁
第32回全国高等学校総合文化祭出場
(コーラス部・新聞部・書道部 文化連盟賞受賞)
ディベート部 ディベート甲子園出場

部活動加入数

() は女子の内訳 2008.5.1現在

[事業部]

執行部	23 (18)
議長団	4 (2)
応援団	7 (3)
新聞部	14 (6)

[文化部]

文芸	5 (4)
演劇	2 (2)
映画制作	6 (2)
物理	8 (3)
化学	12 (4)
生物研究	4 (1)
無線	0 (0)
写真	11 (10)
コーラス	24 (18)
吹奏楽	88 (75)
美術	17 (14)
書道	22 (19)
E S S	11 (11)
J.R.C. (日本赤十字)	6 (6)
華道	5 (5)
茶道	41 (41)
パソコン	10 (5)
ディベート	10 (4)
放送	8 (0)

[同好会]

数学オリンピック	4 (1)
----------	-------

[運動部]

弓道	46 (16)
剣道	30 (5)
柔道	29 (12)
水泳	22 (9)
山岳	6 (2)
陸上	49 (17)
野球	64 (7)
男子ソフトテニス	18 (0)
女子ソフトテニス	29 (29)
男子硬式テニス	35 (0)
女子硬式テニス	17 (17)
卓球	29 (3)
男子バスケット	27 (3)
女子バスケット	25 (25)
男子バレー	23 (3)
女子バレー	24 (24)
ラグビー	59 (5)
サッカー	70 (5)
ヨット	33 (10)
バドミントン	52 (28)

総計 1029 (474)

生徒総数 1192 (557)

部活動加入率 86.3%

4・5・8面「修猷のいま」【部活2008】は剛賢会(昭和57年卒)編集部清水(宮原)明子・山田(西村)昌子が担当しました



魂のタックル
(写真は2枚とも、4月1日の青森北高校戦)

春に埼玉で行われた第9回全国選抜大会に、チャレンジ枠西日本代表校として推薦され出場。1回戦は、後の東北大会にも優勝した青森北高校に19-29と惜敗。スクラムの最前線3人に100kg以上の選手を揃えた強豪を相手に、小柄な修猷ラグビー選手は、強風の中走りに走り、素早い展開で善戦した。

学校からも「ウルトラ弾丸ツアール」で17時間かけてバス2台の生徒達が応援に参加し、多数のOBと共にスタンドを埋めた。敗者戦は都会的攻撃センスを誇る東京の強豪校、明大中野高



修猷応援席前を疾走しての先制トライ

30年ぶりの全国

ラグビー部

廃部の危機をのりこえ、久しぶりに出場した予選を経て、県大会で奇跡の優勝。全国大会において、46都道府県中27位という好成績をおさめた。

初のインターハイ出場
山岳部

競技は、体力・天気図作成・医療・自然観察・気象知識のペーパーテスト、地点確認(説図のテスト)、設営と炊事を審査して行われる。県大会では、修猷館1位の結果に集計ミスを疑い、すべての

インターハイOB観戦記

陸上部

福寺 誠一(昭和43年卒)



猛暑の8月1日に埼玉県熊谷で開かれたインターハイに修猷陸上部の応援に行ってきた。今回の出場者は男子三段跳びの上松正道君、女子400メー

猛暑の8月1日に埼玉県熊谷で開かれたインターハイに修猷陸上部の応援に行ってきた。今回の出場者は男子三段跳びの上松正道君、女子400メー

トルハードルの中村恵利香さん、そして女子走り幅跳びの川崎亜弥さんの3名。スケジュールの関係で女子走り幅跳びしか観戦できなかったが、川崎さんは元気一杯に跳躍。惜しくも決勝進出はならなかったが、力一杯戦っていた。



三段跳びの上松正道選手(2年)
インターハイ後の新人戦、全九州大会で優勝
全日本ユース大会で8位入賞を果たす

に限っては入賞者がいなかったが、彼ら以外にも有望な下級生が多数おり来年は全国レベルでも大いに活躍するだろうと顧問の太田先生の弁。

修猷陸上部は過去16年連続で

部活
2008

埼玉県秩父山系で4日間にわたって行われた晴れ舞台に一步をしるすことができた。



県大会優勝旗授与式

「3年生2人、1年生2人というメンバー構成も他に類を見ないものでしたが、今後はこの2人の経験が大きな力になっていくと思います。また、地区大会、県大会、全国大会と勝ち進むにつれて3年生は大人に、1年生は立派な青年に成長してくれたと思います。このことが私にとっては一番嬉しいことでした」と佐々木教諭。

秋からは1年生9人による部活が始まった。歩荷訓練、県外遠征など地道な訓練を通して、修猷館山岳部の伝統は確実に引き継がれていく。

コーラス部部長

宮本 桃子(2年)

私たちコーラス部は、大津先生のご指導のもと、昨年度の福岡県高文連合唱部門県大会で最優秀賞を頂き、今年度の8月に群馬で行われた全国高等学校総合文化祭に出場しました。

柳川出身である北原白秋作詞の歌曲をメドレーに取り入れ、Queen's Bohemian Rhapsodyはエレキギターを入れて演奏し、日本歌曲とロックを組み合わせて、これまでの合唱の枠を超えて皆で丸となり、多くの時間を費やして練習した甲斐あり、本番では自分たちの力をしっかりと発揮することができたと思います。

同時に、県大会で最優秀賞を受賞したことにより、全国大会の8日後から実施される福岡県高等学校芸術・文化連盟主催の第6次全国文化交流事業にコーラス部から3名派遣されることになりました。3年生の深見夏輝先輩と秀嶋真由紀先輩と一緒に私も参加させていただきます。今回の派遣先であるハワイに行き、現地の高校生と交流をしました。

合唱部門の私たちがアメリカと日本の歌を歌い、フラとのジョイントも行う中で、ハワイの高校生がすぐに手拍子をしてくれ、会場が一体となって盛り上がり楽しめたことを、とても嬉しく思っています。

今回の経験を通して、日本の文化は世界に誇れる素晴らしいものだとな認識しました。

これからも、仲良くあたたかく、感謝の心を持って、心に届く歌が歌えるように練習に励んでいきたいと思っています。

全国大会と
国際交流事業を経験して



第6次全国文化交流事業派遣団とルーズヴェルト高校(ハワイ)との交流



二度の海外在住と現在

福江 桂子（昭和34年卒）

私は、修猷卒業後、主人の海外勤務の関係で二度の海外在住を経験することができました。一度目は、当時（昭和40年代後半）の日本では「怖い国」と

話には少し変わりますが、この二度の海外駐在を挟む形で、銀行、証券会社、保険会社という金融機関にずっと勤務することになりました。そして今でも某保険会社に勤務し、忙しくもやりがいを感じながらお客様と接しています。金融機関は固いのか？と思いますが、海外



研究者を目指して

二宮 太平（平成12年卒）

頭でっかき頭で抽出され、側頭葉に至る経路で「リンゴ」という知覚に結びつきます。また、落ちていくことに伴う「上の方にある」「下向きに動いている」といった情報は、後頭葉から頭頂葉に至る経路で処理されます。この様に視覚情報は、「何か」や「どこか」といった要素毎に異なる経路で処理され、それらが統合されて最終的に「リンゴが木



研究の場である東京都神経科学総合研究所と富士山



から落ちてきた」という認知に到達します。普段の何気ない、見る、話す、歩くといった様々な行動も、突き詰めていくと驚くほど高度な機能と多くの段階を経て達成されています。このようなことを知ったとき、また解明したときの興奮は、研究に身を置いているからこそのことだと思います。僕が今後実際に研究者としてやっていくのか、また何をどの程度解き明かしていくのかは全くわかりません。



う大國が倒れ、強国同士の合併という大きな渦の中に身を置くこととなりました。二度の在住で思ったことは、日本に居て想像していることと、実際に居てみて、その国の文化に触れ、直接感じ取ったことは全く異なり、やっぱり何でもやってみるしかないな！ということでした。平成12年に修猷館を卒業した僕は、未だに学生をしています。決して留年はいません（浪人はしましたが）。正確に言うならば、博士課程2年目の大学院生、一応研究者の卵になります。専門分野は脳神経科学です。近頃テレビやゲームで脳が話題になることも増えましたし、身近に感じる方もいるのではないでし



北京オリンピック結果

石橋 顕（平成4年卒）

オリンピック代表が決まった時は本当にうれしかったです。あと4月イタリアにて国際レースで初めて優勝したときも最高でした。最後に、今後の抱負と読者の皆さんにメッセージをお願いします。A これまで本当に多くの方々の支援を頂いてきました。特に修猷同窓生の皆様には多大なるご支援を頂き大変感謝しております。夢だけを追って必死に歩んできましたが、応援してくれる皆さんから逆に勇気や希望をもらっていた気がします。一人では何も出来ない事、しかし人の思いが集まればどんな事でも可能だということを学ばせてもらいました。今後はヨットの第一線からは引退し、ヨットに費やしてきた情熱を仕事に傾けたいと思います。オリンピックは私の人生の中の通過点にしか過ぎず、これをステップに更なる飛躍を目指してこれからも精進していきたいと思います。皆様、本当にありがとうございました。



北京オリンピックのヨット

変わる動物相

檜垣 正浩（昭和26年卒）



ガラスを攻撃している。昭和38年、米領の沖縄で、内地では珍しい動植物との出会いがあった。石垣島の山地でみかける白い蝶は、内地では珍しいフィリピンシロチョウやイシガケチヨウであった。現在、イシガケチヨウは、我が家の近くでは、宝満山南山麓でよく見かける普通の昆虫になった。



写真上 横浜 三溪園 池に住むアカミミガメ 写真下

た。この虫は現在、日本列島全域から姿を消しつつある。太宰府天満宮の池には、沢山のイシガメがいた。現在、このカメのほとんどはアカミミガメで、日本古来のイシガメやクサガメは少ない。気になるところ、横浜は三溪園のカメを見たところ、全てがアカミミガメ

北京五輪競技セーリング49er級 石橋顕・牧野幸雄組 12位 メダルレースに惜しくも届かずも、日本歴代最高位！ さっそく直撃インタビュー Q 北京オリンピックを迎えた時はどんな気持ちでしたか？ A 最高の舞台にやっと立てる事に感謝し、自分がこれまで戦えるかがすごく楽しみでした。 Q 1日目9位、2日目11位、3日目12位。レースを振り返るといかがでしたか？ A 初日から良い手応えがありましたが、ちょっとしたミスで順位を落としたりと、シビアなレースでした。 Q 北京オリンピックまで苦しかったこと、逆にうれしかったことは？ A 当初資金集めに

は苦労しましたが、最終的にはしっかりと後援会が立ち上がり不安なく活動できました。練習やトレーニングなどできついなと思う事は特になく、取って言うなら、結果が出ない事が一番苦しく辛かったと思います。 Q メダルレース進出をかけた一番の6日目のレースを振り返るといかがでしたか？ A 無心で臨みました。とにかく自分達の力を十分に発揮できればと思いがらセーリングしました。最終日は途中トップに立つ場面が数回あり、最後までいいレースができたと思います。このオリンピックが今までで一番世界と対等に戦えたレースだったと思います。 Q 北京オリンピックまでに苦しかったこと、逆にうれしかったことは？ A 当初資金集めに

は苦労しましたが、最終的にはしっかりと後援会が立ち上がり不安なく活動できました。練習やトレーニングなどできついなと思う事は特になく、取って言うなら、結果が出ない事が一番苦しく辛かったと思います。 Q メダルレース進出をかけた一番の6日目のレースを振り返るといかがでしたか？ A 無心で臨みました。とにかく自分達の力を十分に発揮できればと思いがらセーリングしました。最終日は途中トップに立つ場面が数回あり、最後までいいレースができたと思います。このオリンピックが今までで一番世界と対等に戦えたレースだったと思います。 Q 北京オリンピックまでに苦しかったこと、逆にうれしかったことは？ A 当初資金集めに

恐ろしいことに、2010年は、私も35年卒が卒業50周年を迎える年となります。そんな中、在京の修猷三五東会は「笑顔が集う和みの会」の様相を呈しています。

青春真っ只中の修猷館卒業後、東京修猷会総会の幹事年が意義ある再会の場となりました。あの奮闘の時と、全三五会の35周年を東京で催した経験を通して、新たな仲間意識が構築され、育つていった気がします。

私自身も修猷館時代は、グループの女子達と楽しく過ごしたものの、男子と親しく口をきいた覚えがありません。女子が少ない学年で、今思えば願ってもない環境だったのに、です。それが時を経て同級生に再会してみると、あのワルソ坊主がこんなに立派になって「とか」「近寄り難かった秀才も何ちゃやない」とか「怖い」と思ってたのに何て優しいの」とか、様々な驚きを胸に、どんどん溶け込んでいきました。

昭和35年卒 学年便り

あのも静かだった乙女も、いまや同期会でマイクを片手に仕切っております。

2月と8月の年二回の同期会には、30余名が嬉々として集まります。近況報告だけでは物足りず「我が人生を語る」のコーナーが出来ました。全人生を総括するもよし、一時期を切り取るもよし、エピソードをクロージアアップさせるもよし。もともと語りたい気持ちを抑えてもらい、毎回二人ずつで進んでいます。加えて書道と囲碁の会への参加者も多く、実に盛り沢山です。

バリバリの現役組と再出発の人生を築きむりタイア組が相対じり出し出す雰囲気はなかなかのもの。このままだと、後期高齢者群に突入してもまず大丈夫そうなのが三五東会です。

同期の皆さん、来年は母校の地福岡で、卒業50周年を大いに祝しましょう。

伊藤 洋子(昭和35年卒)

恩師の本紹介
思潮社 現代詩文庫 180

「山本哲也」詩集

これは、修猷館の看板教師の一人であつた山本先生の詩集です。



思潮社 ¥1,165±税

山本先生は、昭和11年福岡市生まれ。昭和39年9月から昭和47年3月まで修猷館高校に勤務された後、福岡高校を経て、第一経済大学の教授を務められましたが、昨年3月に病でご逝去されました。

詩人でもあり、昭和63年には「第三回現代詩手帖賞」を受賞されています。

この詩集には、「労働、ぼくらの幻影」から「一篇の詩を書いてしまおう」とまでの六つの詩集が収められています。

詩人の北川透氏は、山本先生が亡くなられた翌々日の西日本新聞に「たまたかをやめなかつた最後の詩人の姿」という追悼文を寄せられています。

また、山本先生と同年齢で、国語の教師として席を並べられ

ていた無津呂先生は追悼文の中で、「詩人と教師の二役を、細い体で大丈夫かなと思うほど全力を尽くすタイプだった」と書かれています。

心からご冥福をお祈りいたします。

第23回東京修猷会 二木会ゴルフコンペ

2008年10月5日(日)、千葉県君津市の「ジャパンPGAゴルフクラブ」において、恒例の二木会ゴルフコンペを開催しました。当日は、秋晴れのもと、箱島会長、大須賀副会長、甲畑

幹事長をはじめ総勢26名・7組でゴルフの腕を競い合いました。今回は特に女性の参加者が多く(7名)、全ての組に女性が入るという華やかな雰囲気のコムペとなりました。

ダブルペリアで集計した結果、優勝は、グロス77、HC3・6、NET73・4で、前回幹事の田中昭人さん(昭和56年卒)、準優勝は、グロス89、HC15・6、NET73・4で、松尾隆広さん(昭和54年卒)でした。

田中さんは参加者中唯一のグロス70台で見事にベスグロも獲得されました。また、女子ベスグロは昭和56年卒の松岡郁子さん(グロス98)でした。

今回も前回に引き続き、参加された多くの皆様から賞品や差し入れをいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

ラウンド後の表彰式及びバーティーでは、神崎修さん(昭和36年卒)と端野智幸さん(昭和58年卒)からご寄贈いただいたカリフォルニアワインと越乃寒

梅を堪能しながら、世代を越えた輪がいくつも出来、大いに盛り上がりました。

次回は、2009年4月19日(日)大須賀副会長のご厚意により、名門「富士小山ゴルフクラブ」(静岡県駿東郡)での開催を予定しております。皆様奮ってのご参加をお願いいたします。

二木会ゴルフ幹事 西岡 修(昭和57年卒)



* Salon de 修猷 * 第二回

「ソナタの誕生」 イタリア・バロックの音楽 9月27日、さわやかな土曜の午後、学生会館の一室には笛の音と言葉が溢れていた。

第二回となるサロン・ド・修猷。今回はリコーダー奏者の小池耕平氏(昭和56年卒)と、その仲間(チェンバロ・脇田美佳氏、ヴィオラ・ダ・ガンバ・譜久鳥護氏)によるレクチャリーコンサートである。

小池氏のレクチャーによると、バロック時代におけるソナタとは、後世に言う「ソナタ形式」のことではなく、イタリア語の「ソナレー」つまり「歌ではなく楽器で奏でる器楽用に置き換えただけのソナタが生まれ、喜び、悲しみ、ときめきといった感情を表現する音形によって、次第に非常に複雑な内容を表す楽曲へと発展していった。

小池氏の「バロックに癒しを求めてはいけません」という言葉は、その表現するところが、高尚や安寧というよりも、むしろ日常の赤裸々な感情なのだと思え取れる。そう言われて、楽器が語るうたとして注目に値する。深く耳を傾けてみると、繊細でまろやかなだけではないリコーダーの力強い表情が見えてくる。バロックの新たな楽しみ方を教えてくれるコンサートだった。

昭和56年卒実行委員



LA便り

2008年2月LA修猷会幹事の山田哲義さん(昭和49年卒)が南福岡県人会会長に就任された。

9月5・7日には、南福岡県人会100周年記念行事が開催された。5日は田中憲明さん(昭和28年卒)が記念講演をなさった。6日は全米日系人博物館にてレセプションが英語で行われ、福岡県や福岡県人会に縁のあるゲスト、中島孝之福岡県副知事をはじめとする21名の訪問団や二世クイーンとプリンスらを

治福岡県議会議員(昭和37年卒)、田中先輩、山田先輩、新メンバーの河野友見さん(平成10年卒)と会い、記念撮影をした。7日は記念祝賀会が日本語で行われた。

11月1日には、新メンバー歓迎会を開催。東京の竹下明子さん(平成16年卒)を含む14名が参加した。

参加された他の卒業生・松尾正人(昭30)、西山薫(昭49)、榎山(宮原)ゆかり(昭57)、龍圭一(昭62)、ソレンバガー(池田)紀子(昭63)、江口昌彦(平9)、江口玲奈(平10)、山本千恵美(平16)、中村詩織、田中征爾(平18)

※現在、LA修猷会会員は28人。未登録の方はご連絡下さい。米国籍居住者名簿も同時に編集しています。

(URL <http://shuyublogspot.com/>) 榎山ゆかり(昭和57年卒)

3月15日、ロサンゼルス北西のバルボア・パークにて桜花見ピクニックが県人会青壮年部主催で開催され、全体で34名、LA修猷会からは10名、福岡から竹下菜津美さん(平成19年卒)が参加。3200本のピン・クラウド種桜とBBQ、ピクニック、ゲームを家族連れで楽しんだ。

7月11日には東京から旅行中の大迫衛君(平成18年卒)を囲み4名で越路焼き鳥屋で歓談。



2008年 二木会

- | | | |
|-------|---------|---|
| 第544回 | 2008.1 | 吉田 宏氏(外部講師) 福岡市長
『福岡のまちづくり』 |
| 第545回 | 2008.2 | 津田 純嗣氏(昭和44年卒)
(株)安川電機 取締役ロボット事業部長
『ロボットで未来が変わる』 |
| 第546回 | 2008.3 | 山本 周氏(昭和49年卒)
(株)フジテレビジョン報道局 政治部長兼取材センター室長
『日本の政治をどう読むか』 |
| 第547回 | 2008.4 | 石村 善悟氏(昭和42年卒)
(株)石村萬盛堂代表取締役社長
『百年の素心』
歓迎会特別企画(ミニコンサート)
フラパルス 黒田 晃太郎氏(平成10年卒) |
| 第548回 | 2008.5 | 中村 清次氏(昭和35年卒)
日本銀行政策委員会審議委員
『内から見た日銀』 |
| 第549回 | 2008.7 | 横倉 稔明氏(昭和36年卒)
医療法人愛正会やすらぎの丘温泉病院院長
『現場から見た医療崩壊危機』 |
| 第550回 | 2008.9 | 石橋 顕氏(平成4年卒)
北京オリンピック・ヨット競技(会場・青島) 49er級日本代表選手
『北京オリンピック・ヨット日本代表出場報告』 |
| | 2008.9 | Salon de 修猷(第2回)
小池 耕平氏(昭和56年卒)
リコーダー奏者
『ソナタの誕生』〜イタリア・バロックの音楽〜 |
| 第551回 | 2008.10 | 牛島 清氏(昭和46年卒)
国土交通省第三管区海上保安本部長
『「海猿」あれこれ〜愛します! 守ります! 日本! 海!』 |
| 第552回 | 2008.11 | 清田 瞭氏(昭和39年卒)
株式会社大和証券グループ本社取締役会長
『“世界恐慌は起こるか?”
〜国際金融危機と日本経済について〜』 |
| | 2008.12 | 忘年会
講演内容は、下記HPにアップしています。 |

「全校の熱い夏」

部活 2008 番外編 野球部

全国高校野球選手権の県大会は、バス22台を連ね、北九州市民球場へと向かった。遠隔地の対0で勝利し、19年ぶりに南部地区の枠を超え、県の舞台へと躍り出た。

昨春の高校選抜大会「21世紀枠」に福岡県高野連より推挙されたものの、夢に終わって迎えた夏。今度こそ甲子園の土を踏めるのでは、と期待させる快進撃に、全校集会をもうけ、応援団・野球部・吹奏楽部による応援指導も行われた。



7月21日、勝利の麦わら帽子をかぶった館長先生と大応援団



そして修猷、さらに修猷、もつと修猷！

修猷館館長 中嶋 利昭



毎朝、西の空高くはためく館旗、国旗、県旗、そして朝日に輝く「六光星」を仰ぎ見ながら新しい正門をくぐる。校舎改築を終え、穏やかな落ち着いた様子を見せる新校舎を見るにつけ、解体された旧校舎に対する卒業生の想いや、伐採された樹木に流れる歴史を思う。

「体内の分子は絶えず破壊され新たに作られている。『死』というエントロピーの最大化に抗うために、生命は、自らを破壊し再生するという形で、自らを維持している。秩序は守られるために絶え間なく壊されなければならぬ。」(福岡伸一著『生物と無生物の間』より)

この改築にかかった10年という期間は、「修猷」という生命体の脱皮、飛翔準備期間であったのであろう。

修猷館高校ホームページには、事務連絡や学

修猷館高校ホームページ

修猷館高校のホームページには、事務連絡や学

2008年度寄付金

2007年11月1日から2008年10月31日までに179名の皆様から寄付金が納入されています。ありがとうございました。お礼の意味を込めてお名前を掲載させていただきます。(敬称略・卒年別)

00170-6-172892 東京修猷会事務局

福岡同窓会本部、中嶋利昭(館長)、波多野聖雄(福岡同窓会名誉会長)、石丸鐵太郎(近畿修猷会会長)、(昭9)富田明德、(昭11)橋本胖、(昭12)宮川一二、鎌田正行、(昭15)高川正通、明石隆次、(昭18)不破敬一郎、(昭19)川口悟、田尻重彦、早野俊一、毛利昂志、(昭20(4))野上三男、田中庸夫、山名裕、(昭20(5))尾島成美、ジャニイ岩橋、(昭21)稗田孝道、(昭22)南雲進、増崎昭夫、杉島千秋、小池啓雄、伊藤輝夫、濱田理、増崎昭夫、木下洋一、(昭23)井上洋一、中村邦也、白木彬雄、荒谷俊治、柳泰行、大西勇、(昭24)安藏復也、(昭25)山本義治、松岡肇、(昭26)大森康平、太田進、藤吉敏生、小西正利、中村道生、常岡宏、大平修、廣瀬貞雄、(昭27)久家英子、福田純也、甲木千枝、飯田英子、榊喜美子、金田久仁彦、(昭28)真武保博、児玉黎子、(昭29)村越登、長尾淑實、永井充子、高木道子、長野倬士、山下一彦、(昭30)城川明、久保久、喜多村寿信、原田雅弘、遠山壽一、岩田至道、田中栄次郎、(昭31)澄川俊二、高崎洋一、石橋明、小原淑、柴田悟、原田忠和、阿部公明、中村保夫、石井英明、倉員正子、箱島信一、藤川豊、近藤徹、宮川靖彦、岩佐寿夫、岸川浩一郎、伊達直哉、村田和夫、城戸弘、溝部信介、杉山弘實、浅田恭夫、原田宗親、中山悠、牛尾淳、中川庄司、小木曾絢子、(昭32)平野照幸、鳥居健太、林克己、國分英臣、井上智晴、山本貞昭、野間正己、(昭33)大西正俊、松永貴子、米倉實、寺澤美和子、河野理、伊藤純江、武石忠彦、(昭34)讀井邦夫、服部富美子、行武賢一、川辺欽治、岩田龍一郎、伴拓郎、(昭35)中村清次、月本一郎、可児晋、松尾俊一、江川清、今村宏明、伊藤洋子、(昭36)倉成洋三、安藤誠四郎、土井高夫、横倉稔明、高村修一、吉次晃二、中島成之、田中直樹、(昭37)牧文一郎、大須賀頼彦、(昭38)上田茂、渡辺紀大、玉井龍二、(昭39)貝島資邦、清田瞭、久保田康史、(昭40)豊福敏信、棚町精子、泉和雄、長谷川閑史、森秀則、(昭41)林田健、三上博民、淀川和也、(昭43)伊藤裕介、伊豆安生、広瀬豊、(昭44)伊佐裕、甲畑真知子、横田勝介、(昭45)本田由紀子、(昭46)土肥研一、鹿児島正信、栗山英俊、(昭47)塚本幸一、(昭49)井手富士雄、橋村秀喜、古森光一郎、(昭50)乙藤光男、野中哲昌、(昭51)油田哲、安東泰隆、(昭52)寺岡隆宏、古賀敏文、(昭53)上蘭勉、(昭54)中原誠也、松尾隆広、(昭55)柴田幸一郎、吉田聡、(昭56)北岡千晶、金岡恒治、(昭57)外蘭かおり、瀬戸毅、西岡修、豊福昌之、(昭62)田尻公一、(平1)稲垣淳子、(平13)秋本泰行

各地の同窓会総会に出席して

執行部 副幹事長 安東 泰隆(昭和51年卒)

東京の総会では近500名を超える参加者があるが、福岡はさすがに地元だけあってその倍以上、1000名を超える。また運営もおおらかで、殆どいきなり飲み会モードとな



平成18年近畿修猷会総会にて同期の大山邦彦さん(右)と筆者

り、出し物もスケールが大きく、圧倒される雰囲気がある。大阪は参加者200名くらいだが、アットホームで着席のコースメニューである。釣り、絵画、コーラスなどの「クラブ活動」が盛んな近畿修猷会であるが、その成果発表が食事の間に行われる。どれも見事なものばかりで同窓生同士の親睦感がよく伝わってくる。

編集後記

3年前の19号から、会報の編集を二木会幹事学年が担当することになりました。私たち剛質会(昭和57年卒)は新聞記者が一人もいない初めての年。二木会の広報部門と勘違いして参加してしまったメンバーもいます。そんな不慣れな7人が、メールで熱い議論をかわしながら、編集作業に取り組みました。

原稿執筆を快諾いただいた皆様をはじめ、各方面での暖かいご協力に、深く感謝いたします。

笑話のようなエピソードです。修猷を巣立った後、たくさんの方々が様々な分野で活躍していらっしやいます。今回は、そうした同窓生の活躍と並んで、原点である修猷の今の様子も伝えたいと考えました。母校で教鞭をとる同期の渡邊康宏君の力を借り、中嶋館長のホームページからヒントを得ながら、紙面をつくりました。

原稿執筆を快諾いただいた皆様をはじめ、各方面での暖かいご協力に、深く感謝いたします。